

分野Ⅰ
くらしと福祉に関すること



施策

- ①健康・医療 ②高齢者福祉 ③子育て支援
④障害者福祉 ⑤社会保障 ⑥地域福祉活動
⑦男女共同参画

主な事業

- ・健康寿命延伸に向けた取組
- ・介護予防の地域づくり
- ・妊娠期からの切れ目のない支援
- ・保育サービスの充実 など



分野Ⅲ
生活環境に関すること



施策

- ①住環境 ②ごみ・リサイクル ③防犯・交通安全
④防災 ⑤地域コミュニティ・住民協働

主な事業

- ・空き家対策の取組
- ・ごみ分別細分化や高齢者のごみ出し負担の軽減
- ・防災体制の強化
- ・地域コミュニティ活動への支援 など

分野Ⅴ
地域産業・地域経済に関すること



施策

- ①農業 ②商工業 ③企業誘致
④雇用・労働 ⑤観光

主な事業

- ・域内消費活性化の促進
- ・雇用促進の支援
- ・企業活動が円滑におこなわれる環境整備と支援 など



分野Ⅴ
土地利用に関すること



施策

- ①土地利用

主な事業

- ・不足する都市機能の誘導 など

分野Ⅱ
教育と文化に関すること



施策

- ①人権教育・人権啓発 ②学校教育 ③青少年教育
④生涯学習 ⑤スポーツ ⑥文化・芸術 ⑦歴史

主な事業

- ・「確かな学力」の育成
- ・子育て家庭への経済的支援の充実
- ・生涯学習活動の支援
- ・活力あるスポーツの場の環境づくり など

分野Ⅳ
都市基盤に関すること



施策

- ①道路 ②上下水道
③公共交通 ④駅周辺整備

主な事業

- ・地域の内外を結ぶ道路網の整備
- ・コミュニティバス等を利用することが困難な人への移動支援
- ・交流・にぎわいが創出される施設の整備 など



分野Ⅵ
行財政運営に関すること

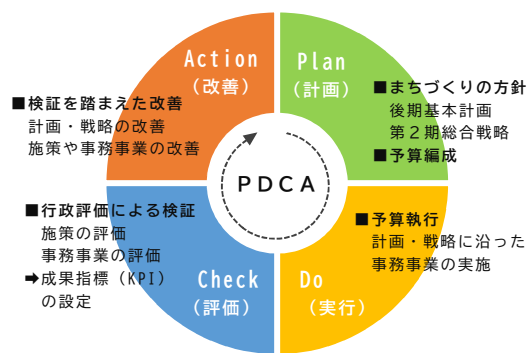


施策

- ①広域連携・広域行政 ②広報・広聴
③行政運営・財政運営

主な事業

- ・多様な主体との連携による関係人口創出
- ・プロモーション戦略の構築
- ・スマート自治体の推進



概要版

川西町第3次総合計画 後期基本計画



川西町

発行：川西町（総合政策課） ☎ 0745-44-2213

「幸せ」続く 川西町の実現へ

わたしたちのまち、川西町はコンパクトな町域ながら、農村田園環境、区画の整った住宅街、工業団地が整理され、「住む」にも「働く」にもバランスの取れた町です。また、奈良盆地のほぼ中央に位置していることから、県内どこへでもアクセスできることや主要道路と鉄道によって大阪、京都、名古屋ともつながっていることから、今後も人が集まり活動する舞台としてポテンシャルが高い町だと考えております。一方で、東京への一極集中や少子高齢化による人口減少、地方創生による自治体間競争など、本町への逆風も吹いている状況にあります。

そんな中、今後も持続して地域を維持し、住む人、働く人、関わる全ての人のウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に幸せな状態）が実現できるよう、中期のビジョンとして「川西町第3次総合計画後期基本計画」を策定しました。計画を策定するにあたって、よりよい未来が実現するよう「人・企業が集まるまちづくりの推進」「子育て・教育の支援強化」「シニアの生活支援強化」「行財政改革の推進」を施策の4つの柱として設定しています。

今後本計画をもとに、住民の皆さまが地域の中で安心とワクワクを感じ、住むことに誇りを感じてもらえるようなまちづくりを進めていきますので、一層のご理解とご協力をお願いします。

川西町長 小澤晃広

『4つの柱』で持続可能な社会の構築を目指します



人・企業が集まる
まちづくり
の推進



子育て・教育の
支援強化



シニアの
生活支援強化



行財政改革
の推進

基本構想で設定されている32施策を4つの柱
(4つの重点プロジェクト)の視点で再構築

行財政
運営

地域産業
地域経済



基本構想・前期基本計画
安心すくすく豊かな心を育む
“かわにし”

くらし
と福祉

教育と
文化

生活環境

都市基盤

土地利用

子育て・教育
の支援強化

行財政改革
の推進

人・企業が集まる
まちづくりの推進

シニアの
生活支援強化

持続可能な
社会の構築

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

計画の詳細は
こちらから
(町公式ホームページ)



住民の皆さんと作成した長期ビジョンである第3次川西町総合計画の基本構想とこれまでの前期基本計画を踏襲しつつ、時代の変化に合わせた「人・企業が集まるまちづくりの推進」「子育て・教育の支援強化」「シニアの支援強化」「行財政改革の推進」を重点プロジェクトとして位置づけ、安心すくすく豊かな心を育む“かわにし”の将来像を目指します。また、町の取組みが社会により影響を与えることによって、持続可能な社会構築に貢献することを目指します。

